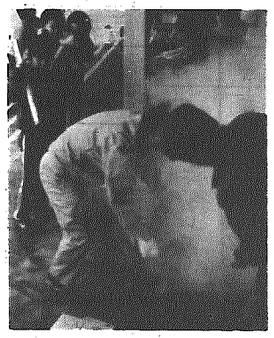
第7回 農業祭
地場農業で賑わう
人気集中即売コーナー

第七回村農業祭が十一月二十二、二十三日沢海の農村環境改善センターで行われました。

今年の農業祭は、〝地場農業を考えよう〟と長芋、キャベツ、梨など特産を並べた農産物品評会、作ろう食べよう自給野菜の料理・加工品展示・試食コーナー、越冬野菜・豚肉産地直売コーナー、余技展、映画劇場など多彩な催しもので、両日とも会場いっぱいの大変なにぎわいを見せていました。

越冬野菜、豚肉の即売コーナーなどでは、村内外からかけつけた買物客が殺到し、売る農家も大わらわで大変な人気を呼んでいました。

▲会場いっぱいの混みよう
人気を呼んだ農畜産物即売コーナー


▲ボーン　昔なつかしいボン菓子もこどもたちに喜ばれた

▲見事な出来にみなさん感心

公給領収証の完全交付受領強調月間
12月10日～1月9日
税がかかる場合は公給領収証を必ず受けとりましょう
新津財務事務所

第七回 農業祭表彰者

養豚肉質改善共進会
▽最優秀賞　鈴木令一
▽優秀賞　今井国雄
▽優良賞　遠藤彦一

農産物品評会
▽村長賞（ながいも）　中沢作一
▽農協組合長賞（梨）　井越アヤ子
▽農業委員会長賞（里芋）　五十嵐一英
▽村議会議長賞（ごぼう）　田代文治
▽土地工区長賞（白菜）　野瀬山幸枝
▽普及所長賞（キャベツ）　伊藤連蔵

県教育委員会の会議 公開実施のお知らせ

県教育委員会では、十月一日から会議の公開を実施することになりました。

会議を傍聴されたい方は、あらかじめ、郵便往復はがき（官製）により傍聴申請書を提出することとなっています。

なお、申請者が多数の場合は、抽選により十人に限り傍聴許可書が交付されます。

また、村教育委員会でも、昭和三十一年より会議を傍聴することができるようになっています。傍聴しようとする場合、自己の氏名、住所、職業、その他委員長の必要と認めた事項を告げて委員長の許可を受けることとなっています。

新潟交通急行バス
農協前バス停からも利用できます

十一月一日から新潟交通の急行バスが、横越農協前バス停にも停車し利用できるようになっていますのでお知らせします。

野菜嫌いが直った

食事こそ家族のきずな ③

女子栄養大学教授
食生態学　足立己幸

野菜嫌いのM君のお母さんにあるアドバイスをしたところ、その子の野菜嫌いが直りました。

M君は野菜の中でも特にホウレンソウのおひたしが嫌いでした。そこで、M君に夕食の買い物に行ってもらい、ホウレンソウを買ってきてもらいました。そして、夕飯の仕度を手伝ってもらい、それからホウレンソウのおひたしの盛りつけをしてもらいました。M君はしばらく考え込んだ後、みんなの皿には普通に、自分の皿には少しだけ盛りつけました。

〝食べさせられる〟食事

さて、夕食の時間になりました。するとどうでしょう。M君は自分が食事づくりを手伝ったことを自慢しながら、嫌いなはずのホウレンソウのおひたしにもハシを付け、きれいに平らげてしまったのです。その日を境に、M君の野菜嫌いが直ったことは言うまでもありません。

つまり、M君が野菜を嫌っていたのは、いつも食事を食べさせられていたからなのかもしれません。自分で買い物に行き、盛りつけをするという作業を経験して、初めて食べさせられる側からつくる側に回り、それをきっかけにホウレンソウとの新しいつき合いが始まったといえるでしょう。

だれでも参加できる食事づくり

ところで、食事づくりに参加しようというと、どうも調理することだけが食事づくりだと考えられてしまうようです。

しかし、食事をつくるというのは、何をつくるかを考えることから始まって、買い物に行ったり、洗ったり、焼いたり、盛りつけたり、並べたり、食卓の上の電気をつけたり、片づけたりと、だれにでも参加できることがたくさん続きます。たとえお年寄りや体の不自由な人でも「今晩は○○が食べたいなあ」と意見を出すことで参加することができるわけです。こうして食事づくりにそれぞれの立場で参加すれば、「さあ、早く食べよう」とか「みんなで一緒に食べよう」という雰囲気を自然につくり上げていくことにもなるのです。

食事の喜びを素直に表現する

食事は毎日三度、繰り返し食べるものですから、つくる人も食べる人も知らず知らずのうちに、食事から得る感動が薄らいでしまうということも考えられます。

こうした食事のマンネリに陥らないためには、みんなで食べることの楽しさやおいしいと感じたときの喜びを素直に表現することでしょう。

「今日はお父さんも一緒だからおいしいね」とか「今日のヒレカツはいつものより大きいでしょう」と、感じたことをそのまま表現するような会話が大切なのかもしれません。このように、楽しく食べるための雰囲気づくりも含めて、「食事づくり」の大切さを、家族みんなで考えられてはいかがでしょうか。

収穫感謝芸能祭で楽しむ
カラオケ大賞に長谷部幸一さん

収穫感謝祭が十一月四日、横越村農協・有線放送協会共催で横越小学校体育館で行われました。

当日は、好天にも恵まれ、会場には朝早くから観客が続々と来場し、開演時には満席となる大盛況となりました。

第一部の有線放送杯争奪カラオケ大会には、十一名ののど自慢が出場し熱唱、会場から思わずため息がもれるほどの歌が続々と披露されました。

第二部は、村内十二の婦人部などによる舞踊ショーが行われ、日頃練習に励んで修得した踊りが鮮やかな揃いの衣裳で繰り広げられました。

また、趣向をこらした踊りもあり、賑やかななかにも笑いをさそって楽しませてくれました。

第三部では、歌手の村上幸子と小田島雄一を招いての歌謡ショーで、生の演歌に観客を魅了しました。

カラオケ大賞の長谷部さん

カラオケ大会入賞者
▽有放大賞、長谷部幸一　▽準有放大賞、川崎長栄　▽熱演賞、村木源七　▽敢闘賞、中村勝美　▽努力賞、伊藤洋子　▽特別賞、長谷川富男

村内一周駅伝
横中陸上競技部が優勝
28チーム激しい雨のなか健闘

スタート直後から降り出した雨が激しく降る最悪のコンデションとなった公民館主催第八回村内一周駅伝大会が、十一月十七日行われ横越中陸上競技部Aが本領を発揮して優勝しました。

今年の大会は、これまで最高の二十八チームが参加、なかでもスポーツ少年団野球部の小学生チームやこの大会をめざして一ヶ月前から練習を重ね出場したママさんの二チームが、激しい雨の中でびしょぬれになって健闘した姿が印象的でした。

競技は午前十時三十分ヒップアップレディーズの佐藤セツ子さんの選手宣誓のあと、横小前をスタート、全長十九・六キロ七区間で競われたレースは、二区から先頭に立った山崎製パンを各チームが追う形で展開してきましたが、最終区で横中陸上競技部Aが逆転、約二百五十メートルの差をつけ役場前にゴールインしました。

優勝杯を受ける横中陸上競技部

優勝　横中陸上競技部A　1時間14分33秒
二位　山崎製パン　1時間15分31秒
三位　横中バスケット男子B　1時間17分10秒

菊花展で出来栄え競う
文化祭

快晴に恵まれた十一月三・四日、村公民館主催による文化祭が行われ、菊花展、生花展、写真展、お茶会などのほか、ゲートボールを題材にした俳句が展示され、終日鑑賞の人たちでにぎわいを見せていました。

菊花展では、二百三十七鉢が出品され出来栄えを競った結果、成績は次のとおりです。

◎総合成績
▽一位　阿部定雄　▽二位　中村忠作　▽三位　佐藤三八六

◎作品賞
▽村長賞　中村忠作（厚物三幹）　▽議長賞　中村忠作（競技花管物）　▽教育委員長賞　斉藤又七（数立管物）　▽公民館長賞　阿部定雄（競技花厚物）　▽農業委員会長賞　坂井幸雄（管物三幹）　▽農協組合長賞　中村忠作（福助管物）　▽商工会長賞　長谷部徳平（一幹花壇）

◎競技花の部
厚物（泉郷筑前）＝▽優等　阿部定雄　▽一等　高橋達栄　▽二等　中村忠作　▽三等　佐藤三八六
管物（国華花百合）＝▽優等　中村忠作　▽一等　伊藤千代吉　▽二等　市村文雄　▽三等　永井直次・五十嵐由次